

銚子市第2期子ども・子育て支援事業計画（案）に対するパブリックコメント実施結果

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見の募集期間 令和2年1月6日（月）～令和2年1月31日（金）  
 (2) 意見提出者数 3名（3件）

2 提出いただいたご意見の概要と市の考え方

番号	提出いただいた意見	ご意見に対する市の考え方
1	<p>市内で学童保育が設置されない船木、椎柴はなぜ増設されないのでしょうか？希望を出しても他の小学校へ行ってくださいと言われるだけ。保育所は65才未満の父母、祖父母がフルタイムで働いてないと入れない、幼稚園はなくなる一方でほとんどの方がフルタイムと考えても良いのに、小学校に入ると急に仕事を辞めざるを得ない状況になるのはあまりにも理不尽ではないでしょうか？廃園になるのは止められないにしても、施設をまとめるなら幼稚園のような自宅近くまでの送迎を小学校卒業までできるような体制を望みます。</p> <p>7月の子ども手当申請は市役所へ全員提出するので、その時にアンケートをとって今の子育てに何が必要か要望を聞いてもらえませんか？今この形では提出する人も少なく100ページもある資料に目を通す人は少ないと思います。新しい施設はいりません。文化センターも近隣で貸りればいいです。細々とした運営で良いので保育園と小学校は大切にしてください。</p> <p>自分の子供が椎柴地区でまた子育てできる将来の環境を望みます。船木、椎柴地区の子供の数が少ないから増設できないのだと思いますが、何人の新入学生が学童のせいで他の学区へ行っているのか教えてください。</p> <p>4月からは旧西高で千葉ジェッツのアカデミーが始まります。アントラーズ（市営球場で）のスクールもあります。これ以上子供の数が神栖へ流出しないよう、細々とでいいので努力をお願いします。</p>	<p>計画の「教育・保育提供区域の設定」では、放課後児童クラブは各小学校区に設置を検討するとしています。</p> <p>現在、未設置の船木・椎柴小学区に設置を検討する場合、設置場所の有無・選定、支援員の確保などが課題となっています。</p> <p>このため、今後の各小学校に通う子どもの数の推移、統廃合の進捗状況等を注視しながら、児童の送迎による他クラブの利用も含め、サービスの提供を検討していきたいと考えます。</p> <p>なお、本計画の策定の基礎資料として、市民の皆様の子育て支援事業に関するニーズ量やご意見・ご要望を把握するため、平成30年11～12月、就学前児童や小学生がいる世帯を対象に抽出し、アンケート調査を実施し、その結果を踏まえて本計画を策定したところです。</p>

番号	提出いただいた意見	ご意見に対する市の考え方
2	<p>当該箇所80～82ページ 基本施策7の2. 障害のある子どもへの支援について 現在、市内で専門的に障害のある子どもに支援を行う施設は、東部地区に「児童発達支援センターわかば」がありますが、西部地区からは遠いと思います。身近な地域で情報提供や相談・支援を受けることができるように、西部地区でも同様の施設が必要ではないでしょうか。</p>	<p>「児童発達支援センターわかば」は1市町村に1か所の設置が求められている児童発達支援事業の中核となる施設で、新たな設置は考えておりません。 市では銚子市障害児福祉計画において、サービスの提供体制として民間事業者が実施の児童発達支援事業所の活用を検討しております。 また、在宅の障害児の訪問支援も行っております。 今後も相談・支援の必要なお子さんについては、個別に丁寧に支援できる体制の充実に努めていきます。</p>

番号	提出いただいた意見	ご意見に対する市の考え方
3	<p>小長、長山方面の自力で小学校へ通えない子供達にスクールバスを早く通して下さい。  (公立保育所再編方針(案)に対するパブリックコメントの様式で提出されましたが、子ども・子育て支援事業計画(案)に対するご意見と判断し掲載しました。)</p>	<p>いただいたご意見は子ども・子育て支援を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。</p>